

学校教育目標 「郷土「芦屋」に誇りを持ち、ともに学び、よりよい未来を創り出す子供の育成」



創立151年

# 芦小だより

芦屋小3つのあ「あいさつ あんぜん ありがとう」

令和6年12月11日 第10号

芦屋町立芦屋小学校

文責：勝木 久美

住所：芦屋町白浜町3786

電話：093-223-0059

全校児童数 190名

## わたしたちは多くの人とつながって生きている

人は人として生まれると、基本的人権が保障されます。『基本的人権』とは『人が人として幸々に生きるための権利(約束されたもの)』で、世界中の人々に共通した一人一人に平等に与えられた権利です。基本的人権は、大切にしなければなりません。

右写真は美しい虹の写真です。

赤・橙・黄・緑・青・藍・紫の七色の虹はいつ見ても美しいのですが、なぜこんなに美しいのでしょうか

虹は、それぞれの色が隣の色を邪魔することなくお互いの色を大切に、そして思いやりながら自分の色を出して、精一杯輝いているからです。人間も同じです。皆さんも一人一人自分の色つまり個性を持っています。そして、その個性をお互いに尊重しながら生活しています。

芦屋小の児童は190人、同じ顔や個性を持つ人はいません。世界の人口は約81億人。同じ顔や個性を持つ人はいません。あなたは世界にたった一人の大切な人です。自分も大切、同じように仲間も大切です。皆さんが、自分の命と周りの人の命を大切にできる人へと成長してほしいと願っています。いつでも、どこでも想像力を働かせて、相手の立場に立って考えること。そして、思いやりを忘れずに仲間を大切にしましょう。仲間を大切にできる人は自分も大切にできる人です。芦屋小のだれ一人として、悲しい思いをすることがないように、そして「みんなといえると楽しい。」と、だれもが言えるように優しさ溢れる芦屋小にしていきましょう。



### 芦屋小 人権集会 (12月9日) 「思いやり」から「思い合い(愛)」へ



冒頭に映し出されたスライド

道徳科の時間を中心に、自分自身を見つめ直したり、悩んだり困っている人に気づくことができる授業を日々展開しています。人権について考えて生活するのは、この期間だけでなく、1年中であり、毎日です。

人権集会では、人権担当教師から人権についての話を聞き、今までよりもっと自分を大切に、もっと周りの人のことを考え合いました。

今月の生活目標「人にやさしい自分になろう」をさらに深め、自他を大切にできるようになってくれることを願っています。



〈この挿絵が意味するもの〉 ＊くじらぐも(1年 国語科下巻)

くじらぐもの優しさ(抱擁)と

みんなが落ちないようにと たがいに仲間を思い合う大事な場面

## 4年生 砂像体験学習 (11月18日)

芦屋海岸のきめ細やかな砂と水だけで造られた砂像は、大雨の影響で損傷していましたが、国内外のトッププロの彫刻家の作品は素晴らしく、見ごたえがありました。今年度は、本校4年生が体験の機会をいただき、砂像制作の楽しさを体験することができました。

実行委員会の皆様方、大変お世話になりました。ありがとうございました。



ついつい時間を忘れてしまう・・・

## 絆を深め、心に残る修学旅行 (11月27日・28日)

楽しみにしていた6年生の「長崎・熊本」の修学旅行は、おおむねの天気の中、1泊2日の行程を無事終えることができました。最も6年生の素晴らしいところは、時間に対する意識が非常に高いということです。5分前に集合したおかげで、行程が一度も遅れることなく進行できました。この修学旅行で学んだことを日々の言動を通して、残り3ヶ月の小学校生活の中で後輩たちへ伝授してくれるものと期待しています。



徳川幕府に築造された人工の島「出島」を見学



### — 平和への強き思いを受け継ぐ —

語り部の岩永さんから、当時の長崎市内の様子や放射能が残る荒野を一晚中歩き続けたこと等お話しいただきました。子供たちは真剣に話を聞いていました。

その後、およそ14メートル高の平和祈念像の前で平和集会を行い、芦屋小全校児童で作った千羽鶴を奉納しました。6年生は、戦争で苦しんだ当時の話を岩永さんから聞いた責任があります。これからの暮らしの中でこれまでの自分の行動を振り返りながら、間違いを繰り返さないように。

そして今、自分にできることを考えてほしいと願います。



芦屋小全校児童の鶴を奉納

## 3年生 伝統の『団子雛(だごびな)』づくり (11月28日)

祖父母学級の方々と、だごびなをつくりました。寒い中、朝早くから準備をしていただき、ありがとうございました。どの作品も力作ばかりで感心しました。

芦屋町では、約300年前から伝わる「八朔の節句」という伝統行事が今も続いています。この「八朔の節句」とは、その家庭で初めての男児誕生には、「わら馬」を、女児誕生には、「団子雛(だごびな)」を作り座敷などに飾って、節句の日にご近所に配り、地域で子どもの成長を祈る行事のことです。



タブレットにデザイン化  
真剣に取り組む3年生



上四元先生の温かいサポート

## 季節感満載の🎄カレンダー (11月29日)

こすもす・さくら学級合同でカレンダーを制作しました。曜日や日にちを確認した後、12月の季節に合わせたイラストを考えて折り紙で仕上げていきました。始終、会話が弾みながら楽しい時間を過ごしました。上四元先生、いつもありがとうございます。

